

地理歴史科（地理総合）学習指導案

- 1 履修単位数 2 単位
- 2 実施日時 令和 7（2025）年 11 月 19 日 第 1 時限
- 3 学級 25HR（30 名）
- 4 使用教科書 『高等学校 新地理総合』（帝国書院）
- 5 単元名 世界の食料問題
- 6 単元設定の理由

- ①生徒観・・・ 生徒はおおむね素直であり、学習態度は良好である。一方で、知識の暗記にとどまる生徒も多いため、知識を活用して実際の世界の課題について積極的に追究、考察することに慣れさせたい。
- ②教材観・・・ 食料問題は当該国の農林水産業だけの問題ではなく、各国の経済や歴史、国際関係と密接に関連している。しかし、それらの結び付きを実感できていない生徒が多く、一面的な解決方法を考えがちである。生徒同士の協働的学習を通して、世界の食料問題を多面的・多角的に捉えることを身に付けさせたい。
- ③指導観・・・ 「MetaMoJi Classroom」を利用したグループ学習と代表者による討論を行うことで、生徒が能動的に学習し、深く単元内容を印象付けることができると考える。知識を教え込むことよりも生徒同士の協働的な学びを重視し、自由に学び合える環境を作り、全ての生徒が理解できる授業内容にしたい。

7 単元の目標

- ・世界の食料問題に関する基本的な社会的背景や追究の方法を理解し、その知識を身に付ける。
- ・地域性や歴史的背景、日常生活との関連や国際社会との関わりを踏まえて地図や統計などの諸資料を多面的・多角的に考察し、自分の考えを適切に表現する。
- ・飽食と飢餓が同居する世界の食料問題に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、自分ごととして考える。

【単元の基軸となる問い】 世界の食料問題を解決するにはどうすればよいだろうか。

8 単元の評価規準

知識・技能（知）	思考・判断・表現（思）	主体的に学習に取り組む態度（態）
世界の食料問題に関する基本的な社会的背景や追究の方法を理解し、その知識を身に付けている。	地域性や歴史的背景、日常生活との関連や国際社会との関わりを踏まえて地図や統計などの諸資料を多面的・多角的に考察し、自分の考えを適切に表現している。	飽食と飢餓が同居する世界の食料問題に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、自分ごととして考えられている。

9 指導と評価の計画 単元名 世界の食料問題 4 時間

- 第一次 発展途上国の食料問題・・・・・・・・・・・・・・ 【●知、●態】
- 第二次 発展途上国における食料問題の解決に向けて・・・・・・ 【●知、●○思】（本時 2/2）
- 第三次 先進国の食料問題・・・・・・・・・・・・・・ 【●知、●思】

単元の指導計画 (○・・・「評価に用いる評価」、●・・・「学習改善につなげる評価」)

時程	学習活動	評価の観点			評価規準等
		知	思	態	
第一次 1時間 扱	【(単元の)基軸となる問い】世界の食料問題を解決するにはどうすればよいだろうか。				
	【第一次(時)の問い】 発展途上国の食料問題とはどのようなものだろうか。				
	<ul style="list-style-type: none"> 教科書の資料をみて、読み取ったことをワークシートにまとめる。 映像資料を見て考えたことをワークシートにまとめる。 	●			(評価資料)：ワークシート ●教科書から飢餓に関する情報を適切に読み取っている。 ●映像資料を見て、関心を持って食料問題について考えられている。
第二次 2時間 扱 ★ 本時 2/2	【本時の問い】 発展途上国の食料問題を解決するにはどうすればよいだろうか。				
	<ul style="list-style-type: none"> 教科書の資料をみて、読み取ったことをワークシートにまとめる。 教科書や映像資料等の諸資料を考察し、自分の考えをワークシートにまとめる。 MetaMoJi ClassRoomを使って話し考えをさらに深化させ、自分の考えをワークシートにまとめる。 	●	●	○	(評価資料)：ワークシート ●教科書から飢餓に関する情報を適切に読み取っている。 ●地域性や歴史的背景、日常生活との関連や国際社会との関わりを踏まえて地図や統計などの諸資料を読み解いている。 ○地理的な見方・考え方を働かせて考察し自分の考えを適切に表現している。
第三次 1時間 扱	【第三次(時)の問い】 先進国の食料問題とはどのようなものだろうか。				
	<ul style="list-style-type: none"> 教科書の資料をみて、読み取ったことをワークシートにまとめる。 映像資料を見て考えたことをワークシートにまとめる。 	●	●		(評価資料)：ワークシート ●教科書から飽食に関する情報を適切に読み取っている。 ●映像資料を見て、関心を持って食料問題について考えられている。

10 本時の指導目標

発展途上国の食料問題について地理的な考え方を働かせて多面的・多角的に考察し、問題を解決するためには先進国の果たす役割が大きいことを理解させ、現実的な解決方法を考察させる。

1 1 本時の展開

時間	学習活動	指導上の留意点	学習活動における 具体的評価規準	評価方法
【単元の基軸となる問い】世界の食料問題を解決するにはどうすればよいだろうか。				
導入 5分	前時に考えたグループごとの解決策の優先順位（ダイヤモンドランキング）を「MetaMoJi Classroom」で確認し、他グループとの相違点についてグループで考える。	討論の対戦相手を発表し、相手の優先順位が最も高い方策と最も低い方策に注目し、指摘するポイントについてグループで考察させる。		
【本時の問い】発展途上国の食料問題を解決するにはどうすればよいだろうか。 解決するための方策に優先順位をつけてみよう。				
展開 40分	グループ対抗のトーナメント方式で代表者が討論を行う。 他グループの意見発表を聞いてグループで話し合い、「MetaMoJi Classroom」上で適宜、優先順位を変えていく。	討論を見て、論理的に解決方法を表現できているか対戦しているグループ以外の生徒に適切に評価させる。 考えている優先順位に「コスト意識」「スピード感」「持続可能性」といった現実的な視点があるかどうかを意識するように対戦が進むにつれてアドバイスする。		
まとめ 5分	ワークシートに、発展途上国の食料問題についての学習を終えた後の考えを記入する。	単元の学習前の自分のコメントと比較し、学習後の考えの深まりを実感させる。	食料問題の社会的背景について多面的・多角的な視点を持って考察し、その解決策を自分の言葉で表現できている。【思考】	ワークシートの記入内容

12 評価の目安と目標実現のための手立て

【思考・判断・表現】

A	十分満足できる	食料問題を地域性や歴史的背景、日常生活との関連や国際社会との関わりを踏まえて考察できており、かつ現実的な食料問題の解決方法を考えられている。
B	おおむね満足できる	他グループの意見を踏まえて、地図や統計などの諸資料を地理的な見方・考え方を働かせて考察し、自分の考えを適切に表現している。
C	Bを満たさない生徒への具体的な手立て	一面的な思考にとどまり、多面的・多角的に考察できていない。マインドマップを使ってまとめ直す等、自分の考えを論理的にまとめて表現する手法をアドバイスする。

